

東日本フェリー 大間・函館航路 1年間継続

去る9月4日に突然、東日本フェリーが11月末で航路撤退を表明し、ここ数ヶ月間、関係団体による協議を続けてきました。

その間、大間町においてフェリー（大間・函館）航路存続町民総決起大会」が開催されるなど、当村においても、婦人団体による署名活動が展開されました。

その結果、財政支援を前提に航路を1年間継続し、その間に大間・函館航路についてあらゆる方策を検討していくこととなりました。



東日本フェリー大間・函館航路存続を願う署名活動報告とお礼

10月上旬より、風間浦村連合婦人会会員の皆様が中心となりフェリー航路存続を願う署名活動を行いました。

お蔭様をもちまして趣旨にご賛同くださり2,100名の方々の署名が集まりました。

署名活動のため、毎戸を訪問されました婦人団体の皆様ならびに署名されました村民皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

命と生活を守るために、なんとしても存続して欲しいという切なる願いを署名簿に託し、大間地域活性化委員会が中心となって国に要望する際にお届けさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。



参加されたみなさん

新島裏寄港記念碑

～交流継続を誓う～



献花したあと、あいさつする大谷實同志社総長

十月三日、海峡いさりび公園内にある新島裏寄港の地記念碑前にいて、村関係者や学校法人同志社の大谷實総長はじめ同志社校友会同窓会青森県支部の会員など、同志社関係者の方々が出席し碑前祭が行われました。

今回で十七回目を迎えた碑前祭では、碑に献花したあと大谷総長が、「同志社の懸賞論文に風間浦中学の生徒が入賞したことを報告し、同志社と風間浦村との交流は、他に例のない交流であり、今後も継続していきたい」とあいさつされたほか、村長のあいさつや賛美歌、風間浦村民歌、同志社カレッジソングの演奏が行われました。